

平成23年度第1回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日時 平成23年5月26日(水) 10:00~12:00
場所 中央図書館 集会室
出席者 ○市民懇談会委員

委員長	副委員長				
小塚	荻島	岩田	岡本	桐生	佐藤
○		○	○	○	○
清水	田中	鳥澤	森本	横田	我彦
○	○			○	

○事務局

【地域文化振興課】市川課長、原山

【生涯学習課】永瀬課長、佐藤、加治

1. 自己紹介 事務局
開会あいさつ 小塚委員長
2. 議題 議事進行 小塚委員長
(1) 報告事項

①第2次富士見市生涯学習推進基本計画策定について

懇談会の提言に基づく「第2次富士見市生涯学習推進基本計画」の策定状況およびパブリックコメントの概要について、事務局より報告を行った。

委員) パブリックコメントでは図書館についての意見が多いように感じられるが、計画ではどう対応されているのか。

事務局) 基本計画の「学習施設の整備」という項目においては、生涯学習の拠点は主に公民館・交流センター等と位置づけていたため、計画には、「現状と課題」の項目で軽く触れられているのを除き、「図書館」単体についての言及はされていない。ただ、学習情報が豊富に集積されている図書館も学習施設のひとつとしてとらえている。施設全体の機能・職員の専門性・利便性などの充実を図ることでコメントを反映していこうと考える。

委員) 図書館は知の宝庫であり、情報を一元化した上で更新・整理して伝えていく作業がしっかりとされるべきだ。富士見市の図書館にはさらにいろいろな機能を盛り込むべきだと思われる。

委員) 図書館に対するパブリックコメントについては、図書館の日常の実践の中で取り入れ、提案に応じていくと良いと考える。

事務局) 図書館については、新たに盛り込むことを視野に入れて内部でも議論をした。今後の事業の中ではしっかり図書館のことを位置づけていきたいと考えている。

委員) 基本計画の内容をどう知らしめていくかということも大事だ。ホームページにアクセスしたが見つけることができなかった。

事務局) 各施設への配布のほか、広報に告知を記載するといった方法も検討している。ホームページには、すでに掲載している。基本計画の本編は閲覧用、概要版は配布用として普及させたい。

委員) 概要版を読んで、本編も読みたいと思う意識の高い方は、少ないだろうが存在する。概要版を読んだ人が本編も読んでくれるような周知の工夫が必要ではないか。

事務局) 今後、広報などで積極的に告知をして、周知を促したい。

②富士見市組織の改正と生涯学習推進委員会について

組織改正の概要と、富士見市生涯学習推進委員会について、事務局より報告を行なった。

委員) 組織改正についてうかがいたい。出張所の総合支所化についての見通しは。

事務局) 今回の組織改正では、まだ具体的にはなっていないが、担当課で引き続き検討していくと伺っている。

(2) 協議事項

①今年度のスケジュール案について

資料に基づき、事務局より説明を行った。

委員) 今年7月から委員が23年度の新しいメンバーになるわけだが、前年度のメンバーが新年度についてスケジュールを決めていく予定なのか。

事務局) 審議会によって進め方は違うが、今後のスケジュールについては、全員そろった段階であらためて確認したい。

委員) まだ新しい委員は決まっていないわけだが、男女共同参画から考えれば、男女比率を考える必要があると思う。

事務局) どの部署でも委員会でも、男女比率については一定の考慮をしながら進めている。

②計画の進行管理について

資料に基づき、事務局より説明を行った。

③出前講座について

資料に基づき、事務局より説明を行った。

委員) できるだけ多くの市民の方に利用していただくため、たとえば市民人材バンクの延長として出前講座を PR するようなことは考えられるのではないだろうか。

事務局) 出前講座も宣伝をすることで市のことを知っていただけたらと思うので、まず十分に議論をしたいと思う。おかげさまで出前講座にはコンスタントに希望があり、職員が対応するのが難しいこともあるほどの状況。現状、市長部局と教育委員会の人材バンクとがリンクされていない部分はあるので、リンクさせることで相乗効果が生まれるのであれば検討していきたい。

委員) 今年度は東日本大震災の影響で、震災対策の講座に申し込みが集中しているそうだが、震災については、東北地方などの情報は入ってきたが、市内の身近な被害状況がなかなか掴めなかった。身近な被害を知ることで、危機感を持つことができるのではないか。

事務局) 震災が市役所の業務に与えた影響はたいへん大きく、普段どおりの市民生活を維持するために多くの職員が奔走した。予想外の事態であったために、市内の細かいことに手が回らなかった面はある。ただ、今回の震災を貴重な体験としてとらえ、さまざまな教訓を今後積極的に活かしたいと考える。

委員) 出前講座のプログラムはどうやって決まるのか。

事務局) 最初は、担当課からの提案で講座の内容が決まる。その上で、要望に応じて精査をしていく。またリクエスト講座というものもあり、個別の要望に応じることも可能な限りやっていきたい。

(3) その他

市民懇談会委員の公募と改選について

事務局) できれば基本計画作成に関わった方々に引き続きお引き受けいただきたいと考えている。追って個別に電話をして、委員継続の意思について確認させていただきたい。

- 資料1 第2次富士見市生涯学習基本計画
- 資料2 パブリックコメントの概要について
- 資料3 組織改正の概要について
- 資料4 富士見市生涯学習推進委員会について
- 資料5 平成23年度の取り組み予定について
- 資料6 計画の進行管理の概要について
- 資料7 平成22年度まちづくり講座—集計表—
出前講座一覧表【平成23年度版】
- 資料8 生涯学習市民懇談会について